

hptabj16.dll
hppjlmon.dll
hpljcomm.dll
hpj5g.hlp
readme5g.wri

win.ini ファイルの変更:

HP LaserJet 5L を通常使用するプリンタに設定するために以下の変更及び追加を行います。ここでは、プリンタポートを LPT1: に設定したものとします。

```
[windows]
device=HP LaserJet 5L,HPJ5G,LPT1:
```

```
[PrinterPorts]
HP LaserJet 5L=HPJ5G,LPT1:,15,45
```

```
[devices]
HP LaserJet 5L=HPJ5G,LPT1:
```

- 2) ステータス・ウィンドウに関して、以下のファイルが、windows ディレクトリにコピーされます。既に、存在している可能性のあるファイルに関しては、ファイル名の右に示したバックアップのファイル名で、バックアップを作成した後にコピーをします。バックアップのファイル名がないものは、バックアップを行わないことを意味します。

<u>ファイル名</u>	<u>バックアップのファイル名</u>
hppdf5lj.dll	
hp5lj.hlp	
hpsw.exe	
hpdeinst.exe	
printman.exe	printman.hpe
printman.hlp	printman.hph

又、以下のファイルが、windows\system ディレクトリにコピーされます。

<u>ファイル名</u>	<u>バックアップのファイル名</u>
hpljvpd.386	
commctrl.dll	
hplj4qp.dll	
threed.vbx	threed.hpv
hpljcomm.dll	
hppjlmon.dll	

win.ini ファイルの変更:

リケーション・ソフトウェアを判別し、それに適当と思われるドライバの設定を[文字のプリント]、[グラフィックスのプリント]の中から自動的に選択します。[文字のプリント]が選択される主なアプリケーション・ソフトウェアは、以下のものです：

Lotus 1-2-3, Lotus AmiPro, Lotus Approach, MS Excel, MS Word, MS Access, MS Works, Windows Write, メモ帳, WordPerfect, Borland Paradox, Borland Quattro Pro

尚、メモ帳では、600dpiの印刷で左マージン設定に正しく動作しない場合があるため、自動的に300dpiが選択されます。

[文字のプリント]では、WindowsのTrueTypeフォントをプリンタに高速にダウンロード。これにより、グラフィックスの印刷のために使用できるプリンタのメモリは制限されますが、文字の印刷は極めて高速となりプリンタフォントのように快適です。もし、メモリ・オーバーフローが発生する場合は、[グラフィックスのプリント]を選択します。

[グラフィックスのプリント]では、TrueTypeフォントもグラフィックスとして処理。プリンタのメモリをグラフィックスの処理に最大限使用することによって、より複雑なグラフィックスの印刷も可能とします。もし、メモリ・オーバーフローが発生する場合は、[300dpi プリント]を選択します。

[高品質プリント]では、プリンタのメモリが不足した場合にも印刷を可能にするイメージ・アダプトの機能を使用しません（他のモードでは自動的に使用）。そのため、メモリが不足した時でもイメージ圧縮を行って一部の品質を下げず印刷せず、メモリ・オーバーフロー エラーが発生します。OHPシートの印刷など必ず高品質な出力が必要な時、用紙を無駄にすることがありません。

[300dpi プリント]では、少ないプリンタメモリで印刷が可能です。600dpiの印刷でメモリ・オーバーフローが発生して印刷できない場合、この設定を選択します。

[マニュアル設定]では、すべての設定をマニュアルで行うことが可能です。

3) TrueType フォントの高速印刷

[文字のプリント]を選択した場合、または、[マニュアル設定]から[TrueType をダウンロードする]を選択した場合、WindowsのTrueTypeフォントをプリンタに高速にダウンロードして印刷します。プリンタドライバおよびプリンタでのキャッシュテクノロジーがプリンタフォントに引けをとらないパフォーマンスを実現します。

4) HP-GL/2 のサポート

従来のHP LaserJetプリンタと同様に、HP-GL/2がプリンタドライバでサポートされます。グラフィックスの印刷速度を特に重視する場合、HP-GL/2を使用しての印刷が効果的です。ただし、一般にHP-GL/2を使用した印刷では、グラフィックスをラスターグラフィックスとして処理する場合に比べ、プリンタのメモリを多く必要とします。必要に応じて、[マニュアル設定]から選択します。

5) 欧文プリンタフォントのサポート

プリンタドライバでは、HP LaserJet 5Lが内蔵するIntellifontフォントをサポートします。プリンタ内蔵フォントは、アプリケーション・ソフトウェアの「書体選択」メニューなどでは、書体名の左横にプリンタのアイコン付きで表示されています。これらのフォントに対するスクリーンフォントがないため、スクリーン上の表示はWindowsが持っているなるべく近い別のフォント

4) プリンタ ドライバでは、多様な機能の設定が可能です。アプリケーション・ソフトウェアでは、プリンタ ドライバの機能に合わせてその処理を行うため、[グラフィックス モード]などの機能を変更した時はその情報をアプリケーションで設定し直す必要があります。アプリケーション・ソフトウェアによっては、プリンタ ドライバの機能を起動時に一度だけ行うものがあり、起動中に[コントロール パネル]から[グラフィックスモード(G)]を変更したり、アプリケーション・ソフトウェアの[印刷]ダイアログボックスから変更した場合、その後動作が不安定になる場合があります。

動作が不安定になった時は、アプリケーション・ソフトウェアを一度終了し、[コントロール パネル]からプリンタに関する設定を行い、もう一度起動し直して見てください。

5) [プリント マネージャ]を使用して大量の文書を印刷する場合、印刷の途中から出力が正しく処理されなくなることがあります。また、一部のアプリケーション・ソフトウェアでは[プリント マネージャ]を使用しないことを推奨しています。なるべく[プリント マネージャ]を使用しないことをお勧めします。[プリント マネージャ]を使用しないようにするためには、Microsoft Windows 3.1]の [コントロールパネル]から[プリンタ]アイコンを選択し、[プリント マネージャを使う(U)]のチェック ボックスをクリアしてください。

6) WIFE フォントはグラフィックス イメージとして処理されます。そのため、[マニュアル設定]ダイアログ ボックスでの[グラフィックス品質(Q)]、アプリケーション・ソフトウェアの[印刷]ダイアログ ボックスでの[印刷品質]での低解像度の設定が、WIFE フォントの印刷品質にも影響します。

[マニュアル設定]ダイアログ ボックスでの[グラフィックス モード(G)]でラスタ モードを選択し、WIFE フォントのテキスト文字の印刷を行う場合、低解像度を選択すると文字に関するグラフィックスイメージのスケーリングが正しく行われません。印刷する文書に WIFE フォントを使用している場合は、[高品質]を使用してください。

7) [文字のプリント]、および[マニュアル設定]での "HP-GL/2" グラフィックス モードでは、WIFE フォントを使用するとメモリ・オーバーフローが発生しやすくなります。WIFE フォントを使用した文書の印刷には[グラフィックスのプリント]を選択してください。

8) WIFE フォントを用いて縦書き印刷を行う場合、Microsoft Windows 3.1]はその文字列をメモリ上で回転させて、そのグラフィックス イメージを出力しようとします。

回転させる文字列に必要なメモリ サイズが大きい場合、回転できずにエラーが発生する可能性が報告されています。これはアプリケーション・ソフトウェアの処理の方法にも依存しますが、そのような場合は TrueType フォントを使用してください。

9) WIFE フォントを使用する場合、メモリの不足から印刷時に文字の抜け、あるいは文字にゴミが入る可能性があることが報告されています。本製品は

600dpi であるために、300dpi の製品に比べその可能性がより高くなること
が予想されます。そのような場合は、もう一度印刷し直すか、TrueType フォ
ントを使用してください。

10) WIFE フォントなどのいわゆるシステムのラスタ フォントをボールド化
する場合、または TrueType フォントを[TrueType をダウンロードしない]を
選択してボールド化する場合、これらは1ドット分だけずらして印刷すること
によってボールド化されます。この時 600dpi では、1ドットが 300dpi と
比較して小さいためボールドに見えにくい場合があります。

ボールドをより強調したい時は、TrueType フォントを指定して[印刷品質]
パネルで[文字のプリント]を設定するか、もしくは[マニュアル設定]から[テキ
スト モード(T)]で[TrueType をダウンロードする]を選択してください。プリ
ントドライバが独自のボールド化を行います。

11) 極端に大きなサイズの WIFE フォントを印刷した場合、その文字のグラ
フィックス イメージを作成するのに必要なメモリ サイズが大きすぎてエラーが
発生する場合があります。これはアプリケーション・ソフトウェアの処理の方
法にも依存しますが、そのような場合は TrueType フォントを使用してくださ
い。

12) ページのマージンや、セルの境界と TrueType フォントの印字位置が重な
った場合、その文字は印字されないことがあります。この場合は、ページ マ
ージンや セル サイズを調整してください。

13) アプリケーション・ソフトウェア上で、細い罫線を指定した場合、一部の
アプリケーション・ソフトウェアでは、印刷時に、極端に細い幅の線を使用し
ようとする場合があります。この際、罫線がきれいに印刷されない可能性があ
ります。この場合は、もう少し太い罫線を選択してください。

14) グラフィックスに関する印刷では、ディスプレイ ドライバの処理に強く
依存する場合があります。印刷結果、あるいはアプリケーション・ソフトウェ
アの文字の処理が期待したものと異なる場合、使用しているディスプレイ ド
ライバを変更してみることも一つの方法です。

15) Microsoft Windows 3.1J の [メモ帳]を使って印刷する場合、600dpi の
解像度を使用すると左マージンが正しく設定されない場合があります。
600dpi では、左マージンを 0~1.38cm (0~0.55 インチ)、2.53~
3.92cm (1.0~1.55 インチ) の間に設定すると、正しく印刷することができます。
また、[マニュアル設定]ダイアログ ボックスの[解像度]で 300dpi を選
択すれば左マージンは正しく設定されます。

また、他のアプリケーション・ソフトウェアでも同様な障害が発生する可能
性があります。そのような場合は、適宜マージンを設定してみてください。

16) Aldus PageMaker 4.0J & 5.0J (アドビ システムズ株式会社) を使用し
て出力を行う場合、複雑なグラフィックスやテキストを印刷しようすると[修
復不可能なアプリケーション エラー]が発生する可能性があります。

そのような場合は、複雑なグラフィックスを少なくする、もしくは解像度を

<< 注意 >>

下記はステータス・ウィンドウの混在に関する制限ではありません。HP LaserJet 5L 用 プリンタ ドライバの混在に関する制限ではありません。HP LaserJet 5L 用 プリンタ ドライバは、他の Microsoft Windows 3.1J 用 プリンタ ドライバと共存できます。コントロール パネル等から選択して使用してください。

1) HP LaserJet 4LJ Pro ステータス・ウィンドウとの混在

すでに HP LaserJet 4LJ Pro ステータス・ウィンドウが、単独でインストールされている場合は、そのまま HP LaserJet 5L ステータス・ウィンドウをインストールしてください。HP LaserJet 5L ステータス・ウィンドウは、両方のプリンタをサポート可能です。この際、HP LaserJet 4LJ Pro ステータス・ウィンドウは、HP LaserJet 5L ステータス・ウィンドウに上書き、変更されます。

HP LaserJet 5L ステータス・ウィンドウが、単独でインストールされているコンピュータに、後から HP LaserJet 4LJ Pro ステータス・ウィンドウをインストールする場合は、一度、HP LaserJet 5L グループ アイコンを開け、[セットアップ削除]を使用して、すべての HP LaserJet 5L ステータス・ウィンドウ関連ファイルを削除してください。その後、HP LaserJet 4LJ Pro ステータス・ウィンドウをインストール、続けて HP LaserJet 5L ステータス・ウィンドウを再インストールしてください。HP LaserJet 5L ステータス・ウィンドウは、両方のプリンタをサポート可能です。

<< 注意 >>

上記の方法を実施した場合、HP LaserJet 4LJ Pro ステータス・ウィンドウは、HP LaserJet 5L ステータス・ウィンドウに上書き、変更され、HP LaserJet 5L ステータス・ウィンドウが、空つのプリンタをサポートします。このため、[セットアップ削除]を使用してステータス・ウィンドウを削除すると、両方のプリンタでステータス・ウィンドウが使用できなくなります。再度ステータス・ウィンドウを使用する場合は、まず、HP LaserJet 4LJ Pro ステータス・ウィンドウを再インストールし、続けて HP LaserJet 5L ステータス・ウィンドウを再インストールしてください。

2) HP LaserJet 4PJ および HP LaserJet 4V (Japan)

これら Microsoft Windows 3.1J 向け 日本語版 HP LaserJet プリンタにはステータス・ウィンドウがありません。HP LaserJet 5L ステータス・ウィンドウも、これらのプリンタをサポートしません。HP LaserJet 5L ステータス・ウィンドウとこれらのプリンタ用ドライバは混在できます。印刷の際、コントロール パネル 等から使用するプリンタを選択してください。

3) 他の HP 製プリンタ用日本語版ステータス・ウィンドウとの混在

まず、ご使用になるプリンタ用の Printing System の説明ファイルを参照ください。通常、HP LaserJet 5L プリンタより後に発売されたプリンタ用のステータス・ウィンドウは HP LaserJet 5L プリンタをサポートできるは

ずです。HP LaserJet 5L ステータス・ウィンドウとの混在についての説明が無かった場合には、基本的に次のようにしてください。

HP LaserJet 5L プリンタを使用する場合は、他の HP 製プリンタ用日本語版ステータス・ウィンドウを削除してから HP LaserJet 5L ステータス・ウィンドウをインストールしてください。通常、[セットアップ削除]のユーティリティが準備されています。

他の HP 製プリンタ、および HP 製プリンタ用日本語版ステータス・ウィンドウを使用する場合は、HP LaserJet 5L グループ アイコンを開け、[セットアップ削除]を使用して、すべての HP LaserJet 5L ステータス・ウィンドウ関連ファイルを削除してください。その後、他の HP 製プリンタ用日本語版ステータス・ウィンドウをインストールしてください。

4) HP 製 英語版ステータス・ウィンドウとの混在

HP 製 英語版ステータス・ウィンドウは、Microsoft Windows 3.1J ではサポートされていません。同様に、HP LaserJet 5L ステータス・ウィンドウは、Microsoft Windows 3.1J 以外ではサポートされていません。従って、両者は混在できません。

HP 製 英語版プリンタ ドライバも、Microsoft Windows 3.1J ではサポートされていません。

何等かの原因で、HP 製 英語版ステータス・ウィンドウがインストールされてしまっている場合には、HP LaserJet 5L ステータス・ウィンドウをインストールする前に、すべての HP 製 英語版ステータス・ウィンドウ関連ファイルを削除し、HP 製 英語版ステータス・ウィンドウのインストール時に変更されたプリント マネージャ等を元の状態に戻さなければなりません。しかるべきバックアップを実施後、HP 製 英語版ステータス・ウィンドウの README ファイルを参考に実施してください。

（HP 製 英語版ステータス・ウィンドウの削除 参考例）

下記は参考例です。すべてがこの通りとは限りません。

1. windows ディレクトリより下記のファイルを削除

hppdf*.dll
hp*.hlp : ダブル クリックするとヘルプがスタート
します。HP 製 英語版ステータス ウィンド
ウのヘルプであることを確認後、削除して
ください。
hpsw.exe : hpljsw.exe が存在する時はこれも削除。
hpljps.ini

2. windows\system ディレクトリより下記のファイルを削除

hpljvpd.386

